

公益社団法人全日本広告連盟  
創立60周年記念事業 全広連「新ロゴマーク」募集

公益社団法人全日本広告連盟（略称：全広連）では、創立60周年を記念して当連盟のイメージにふさわしい、団体の「ロゴマーク」を、全広連加盟各地広告協会を通じて、下記の要領で募集します。

採用作品は、機関誌「全広連」、各種ポスター・チラシの類、封筒、名刺その他当連盟が作成する各種資料等へ刷り込むなどして広く活用させていただきます。

また、全広連加盟各地広告協会でも、各種印刷物等に、自由に使用できるものとします。

記

1. 「ロゴマーク」募集／選定 の趣旨等

来年2013年は全広連創立60周年記念の年となり、この「節目」の年を迎えるにあたり、「新生 全広連」のブランディングの一環として、全広連を構成する全37地域広告協会のさらに意義ある結束と連帯のシンボルとしての、団体の新ロゴマークの開発を行うこととし、そのために、この度、全広連に加盟の各地広告協会を通じて、作品の募集を行うことと致しました。

現在、全広連では、団体のスローガン（「活動目標」）として「広告の元気は、ニッポンの元気。」を掲げ、諸活動を展開していますが、このロゴマークは60周年の記念ロゴマークとしてではなく、60周年を機に従来までのそれを一新して、日本各地の37広告協会が一層団結して社会に貢献する価値ある事業を、さらに積極的に推進していく「新生 全広連」の団体のシンボルとして、今後長く、また、各地広告協会等を含めて幅広く使用していくものであることをご理解下さい。

なお、当団体「全広連」の主な特長、キイ・ファクターとしては、その「歴史性（昭和28年創立の長い歴史と実績を持つ代表的広告関係団体）」、「総合性（広告主・媒体社・広告関連会社等の「三位一体」の会員構成）」、「全国性（東京を含む37の地域広告協会で構成）」、「国際性（アジアを中心とした諸国との協力関係）」、「公益性（地域社会活性化のための各種の公益目的事業を推進）」、「未来性（人材育成のための諸事業等を含む）」等が挙げられ、単一的な「広告業界団体」ではなく幅広い広告関係者が垣根を越えて参集する、日本の「広告界」を代表する総合団体として、年間を通じて各地で様々な活動を展開し、広告文化・コミュニケーションの啓蒙や地域経済の活性化等、地域社会への貢献など“広告の社会的使命の推進”（全広連「定款」）を図っています。

これらを通じての団体としての高い「信頼性」が評価され、今年度2012年から内閣府により

「公益社団法人」として認可されたことで、東京を含む37地域広告協会に事業の拠点をもち緊密に連携する、いわば「公益ネットワーク」「ソーシャル・ネットワーク」を持って、幅広く日本の社会、又アジアを中心とした国際社会の発展に寄与する公益団体として、名実ともに格別な位置づけとなったと言えます。

なお、全日本広告連盟の略称として、「全広連（ゼンコウレン）」の名称が広く一般化されており、英文名は、**Japan Advertising Federation** としています。

（「公益社団法人全日本広告連盟」の組織や事業の概要については、添付の資料を参照下さい。）

以上のような、「公益社団法人全日本広告連盟」の団体としての特長等を考慮されたうえでの企画作業により、明確かつ斬新なデザインによる「新生 全広連」のための新ロゴマーク開発、作品応募に鋭意ご参加を頂きたく、全国の多数の関係各位のご協力を心よりお願いするものです。

## 2. 募集期間

平成24年11月1日～平成25年1月31日必着（\*所属広告協会あて）

## 3. 募集する「ロゴマーク」

- ・当連盟のイメージにふさわしい団体の「ロゴマーク」。
- ・A4サイズ縦、配色をする場合は2色以内としてください。
- ・応募作品は、応募者自身が作成した未発表のオリジナル作品に限ります。
- ・採用作品が他の著作物の著作権等を侵害する恐れがある場合は採用を無効とします。
- ・なお、団体名＝全日本広告連盟（全広連）等の文字テキストとのセットでのデザイン作品としてではなく、ロゴマークの図案単体での応募に限っていますので、ご留意下さい。

## 4. 応募の要領

- ・応募資格は、全広連加盟の各地広告協会会員社の方に限ります。
- ・作品の応募は郵送またはEメールいずれかにて大阪広告協会まで、お願いします。
- ・応募用紙は全広連ホームページ（<http://www.ad-zenkoren.org>）からダウンロード可。
- ・郵送で応募する場合は、応募用紙と作品を同封のうえ提出してください。作品はロゴマークを印刷したもの2枚（A4サイズ縦）とCDにオリジナルデータを記録したものの両方をお送りください。作品のファイル形式はJPEGまたはGIFとしてください。作品の下端から3cm以内に所属広告協会、氏名を入れてください（見本参照）。
- ・Eメールで応募する場合は、応募用紙のファイルと作品のファイルを添付して  
[ooa@osaka-ad.or.jp](mailto:ooa@osaka-ad.or.jp)へ件名【全広連新ロゴマーク】として大阪広告協会まで送信してください。作品のファイル形式はJPEGまたはGIFとし、データサイズは500キロバイト以内と

してください。作品の下端から3 cm以内に所属広告協会、氏名を入れてください（見本参照）。

- ・添付の応募用紙には、応募者の氏名、性別、年齢（チームの場合、複数名も可とするが、必ず代表者名を記のこと）、所属企業・団体・学校名、連絡先及び所属広告協会、作品の制作意図（100文字程度）を記載してください。

（※応募者の個人情報、当「ロゴマーク」募集事業以外には一切使用しません。）

## 5. 応募に当たり、制作者に事前了解をいただきたい事項

- ・採用することとした「ロゴマーク」の著作権は、当連盟に帰属します。
- ・採用することとした「ロゴマーク」の規格、形状及び配色等に関し、制作者の制作意図に反しない限りにおいて、制作者と相談の上、一部修正、改訂をする場合があります。
- ・制作にあたり、国内外や業種等を問わず、各種団体や企業・グループ等のロゴマークを参考にしてこれらと類似したデザインの作品応募は差し控えて下さい。なお、採用作品については、弁理士等による類似商標の調査・鑑定を行います。

## 6. 応募・問い合わせ先

〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目6番6号 華東ビル7F

公益社団法人大阪広告協会 「全広連・新ロゴマーク募集係」宛

## 7. 応募作品選考、採用作品選定の方法／手続

全広連加盟の各地広告協会への応募作品（応募締切：平成25年1月31日）の中から各地協会で最大3作品を選考し、これらを、各地広告協会から全広連へ送付（平成25年2月28日必着）。全広連が組織する「選定委員会」で各地協会から送付された全応募作品について最終選考を行い、1点を選定する（平成25年3月8日予定）。

のち、必要と思われる場合には、制作者と検討の上、原作品の一部修正、改訂作業等の微調整を行い、その後、「全広連8ブロック会議」及び、「全広連理事会」で採用作品の承認・決定とする。併せて、プレス発表を行う。

## 8. 「全広連 新ロゴマーク」選定委員会

全広連各ブロックの代表による「全広連8ブロック会議」委員をメインに構成し、その他、幅広い知見を備えた有識者、広告関係者等を数名程度加えるものとする（今後、決定）。

## 9. 表彰

平成25年5月15日、青森市で開催される「全広連創立60周年記念『第61回全広連青森大会』（青森では初の全広連大会開催）」の式典席上、当連盟理事長（大平明）から、選定された作品の制作者に対して表彰状及び副賞（賞金30万円）を授与します（また、新ロゴマークのスクリ

ーン上映等も予定)。

なお、式典への登壇者1名(チームの場合は代表者のみ)の上記全広連青森大会への参加に関する費用は全広連が負担します。

## 10. その他参考

現行のロゴマークは、以下の内容です。



(カラー：DIC183)

平成2年に制定。制作者は、(株)電通 第三クリエイティブ局八谷(やたがい)CD、参事・八木氏<当時>。制作意図として：A(Advertising)をシンボライズ。3つの角は、広告主、媒体社、広告会社の協和を表現。Aに向けての流線は、広告世界を活性化する「時代のフレッシュな風」をイメージしたもの。

\*なお、ロゴマークは、以下のように団体名ロゴと組み合わせて使用されることがあります。



(以上)

<以下、添付の参考資料として>

### 公益社団法人 全日本広告連盟

昭和28年（1953年）10月20日、日本広告会（東京広告協会の前身）、関西広告協会（大阪広告協会の前身）、中部広告協会（愛知広告協会の前身）の三協会により設立。広告主、広告会社、媒体社の「三位一体」の会員からなる、北は北海道から南は沖縄までの全国37地域所在の広告協会により構成され、全国的な連携のもと活動する全国的・国際的な総合広告団体。平成24年4月1日、公益社団法人へ移行、広告活動のあり方に関する一般対象のシンポジウム及び全国大会の開催、広告講座などの人材育成活動、関係団体の公益事業への支援助成、表彰活動等を通して、「広告の社会的使命」推進し、一般市民の文化的な生活の向上、公正かつ自由な経済活動の促進及び地域社会の健全な発展に資することを目的としている。

主な事業：全広連大会（毎年5月）、夏期広告大学（毎年7月）、秋のシンポジウム（毎年秋）、広告課税問題への対応、学校教科書における広告関係記述改善要望、海外広告研修団の派遣（アジア太平洋広告祭、アジア広告会議）、顕彰活動（全広連鈴木三郎助大賞、全広連鈴木三郎助地域賞）

理事長：大平 明 公益社団法人東京広告協会理事長

副理事長：鎌水 恭史 福岡広告協会理事長

副理事長：塩越 隆雄 青森広告協会理事長

筆頭執行理事：内田 公至 公益社団法人東京広告協会専務理事

執行理事：福井 雅章 公益社団法人東京広告協会常務理事事務局長

会員数：37広告協会（平成24年8月1日現在）

4218社、6214名（広告主、媒体社、広告会社・制作会社等）

加盟協会：全北海道 青森 岩手 仙台 秋田 山形 福島 千葉 東京(公益社団法人) 横浜  
新潟 長野県(一般社団法人) 山梨 富山 金沢 福井 岐阜 静岡県 愛知(一般社団法人)  
京都 大阪(公益社団法人) 神戸 島根 岡山 広島 徳島 香川 愛媛 高知  
福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄

刊行物：・機関誌「全広連」（隔月刊・奇数月）

北は北海道から南は沖縄まで会員ばかりでなく、広告関連団体、学会、政府官公庁等へも配布されている。

・会員名簿「全広連名鑑」（毎年1回9月末発行）

全広連加盟全国37協会の全会員名簿。関係団体の所在地及び代表者名、官公庁連絡先、広告関連資料等も掲載している。

略 称：全広連（ゼンコウレン）

団体名の英語表記：Japan Advertising Federation

海外関係団体：アジア広告協会連盟（AFAA：Asian Federation of Advertising Association）

H P：<http://www.ad-zenkoren.org>

※HPで、全広連の組織や主な事業等、また「定款」（団体の「目的」や「事業の規定」等を含む）などを参照頂けます。（以上）